

市政活動報告

文責 井手口良一（おおいた民主クラブ代表）

ご挨拶

決意表明（3月議会一般質問冒頭）

昨年、米国に端を発しました世界恐慌とも言うべき経済危機は、わたし達の大分市をも直撃してしまいました。百年に一度の世界同時不況とも言われ、大分市にとってもまさに開びやく以来の危機といえます。わたし達のこれまでの経験からは予測できない事態になるかも知れませんし、わたし達がこの危機に立ち向かう手段もまた、これまでにはないものを求められているのかも知れません。ただ、少なくともわたし達のこれからの困難克服のための努力の結果と成果を左右するであろう価値観は、誠実さや勤労意欲、勇気や公正さ、寛容や連帯感、家族愛や郷土愛といったものでなくてはなりません。

もちろん、これらの価値観は決して目新しいものではありません。むしろ、わが国古来の美德であり真実であるといえます。この国の歴史を通して、試練の時も繁栄の時も、わたし達の進歩と安心や満足を約束する力となってきたのも、これらの価値観といえます。今、この未曾有の経済不況に際して必要となるのは、これらの価値観を思い起こし、これらの真実に立ち返ることなのです。

わたし達に求められているのは、わたし達大分市民一人ひとりが、わたし達自身に、わたし達の家族に、そしてわたし達の属しているこの大分市という共同体に対して、義務を負っていることを認識することです。そして、その義務をいやいや受け入れるのではなく、喜んで受け入れ、この未曾有の困難に

対して、それぞれの任務を認識し、全力を傾けて立ち向かうことそのものが、むしろ、わたし達の満足感をもたらし、勇気と誇りをもたらすものであることを確信することです。

わたし達は今こそ、一人ひとりが胸に手を当て、わたし達が何のためにこの世に生を受け、誰かを愛し、誰かのために働き、どこに暮らし、どの共同体の属しているかをしっかりと考え、自覚するべきです。そして、釘宮市長の提唱する共同と連帯の輪を、さらに強固に、さらに広範なものにしなければなりません。それこそが、この百年に一度の世界的経済恐慌に直撃された大分市とわたし達大分市民を、この危機から脱出させることの出来る唯一、最強の手段であると信じつつ、これからの4年間を市議会議員として、わたしはわたしなりの義務を果たしていく決意を表明いたします。

井手口良一



収入篇

項目	上段=大分市の一般会計予算額（千円）		構成比（%）
	下段=あなたの家庭に例えれば		
自主財源の合計	93,765,356		100.0
収入の合計	500万円		
内訳	市税収入	77,997,452	83.2
	給料や本業からの収入	416万円	
	財産収入・使用料・手数料	3,517,140	3.8
	預金利子や持ち家からの家賃などの収入	19万円	
	分担金・負担金	2,158,267	2.3
	町内活動などのために預かっているお金	12万円	
	繰入金	4,076,140	4.3
	貯金の取り崩しや副業からの収入	22万円	
	諸収入や繰越金その他の収入	6,016,357	6.4
	昨年の収入の残りや臨時収入など	32万円	
大分市の依存財源の合計	41,957,544		44.7
あなたの家庭への親などからの仕送りや援助など	224万円		
内訳	地方交付税	6,084,000	6.5
	親の収入の一定割合を分けてもらう分	33万円	
	交付金・譲与税など	8,220,000	8.8
	親の収入からの仕送り	44万円	
	国・県支出金	27,653,544	29.5
共同の支出への親兄弟の分担分	148万円		
市債（大分市の借金）	18,598,100		19.8
あなたのローンや月賦などの借入金	99万円		
収入と新たな借金の合計		154,321,000	164.6
		823万円	

この表の見方

大分市の一般会計予算を収入500万円の家庭と比較しながら表にしています。あなたの家庭に置き換えてみると市の予算の問題点が見えてきます。
500万円の収入しかないのに、絶対にいるお金だけで546万円ですから赤字です。
親や兄弟からの仕送りやローンを組むことによって何とか、しのいでいるというところでしょうか

支出篇

項目	上段=大分市の一般会計予算額（千円）		構成比（%）
	下段=あなたの家庭に例えれば		
義務的経費の合計	102,264,362		109.1
必要経費の合計	546万円		
内訳	人件費（市役所職員の給料など）	34,320,475	36.6
	食費や被服費など生活の基礎への出費	183万円	
	扶助費	31,625,298	33.7
	入院や通院の費用や薬代など	169万円	
	公債費	24,944,376	26.6
	ローンの返済や月賦の支払い	133万円	
	繰出金	11,374,213	12.1
	副業などへの出資や貯金	61万円	
	普通建設事業費	22,886,514	24.4
	自宅の手直しや庭・ガレージなどの新設にかかる費用など	122万円	
維持補修費	2,020,527	2.2	
自宅や家財の保守・修繕費	11万円		
物件費	14,382,150	15.3	
自家用車や家電品などの購入費用や水光熱費	77万円		
補助費など	8,448,224	9.0	
子供や親への仕送りなど	45万円		
貸付金	3,237,691	3.5	
友人などへの貸し金	18万円		
投資・出資金	666,920	0.7	
友人の企業などへの投資や出資	4万円		
積立金	104,612	0.1	
貯金	1万円		
災害復旧費	* 10,000	-	
台風などで壊れた自宅や家財の修繕費用	-	-	
予備費	300,000	0.3	
不意の出費への備え	2万円		
支出の合計		154,321,000	164.6
		823万円	

視点・論点・問題点

新型インフルエンザ対策について

（平成21年第1回定例会本会議一般質問）

公衆衛生や保健衛生の視点からではなく、防災危機管理の視点から、大分市の対策について質問しました。

4年前にわたしが新型インフルエンザについて調査を始めた時、2年前に議会で初めて問題として取り上げた時、まるでSF小説の話のように言われました。わたし自身、こんなに早く新型インフルエンザが発生するとは考えていませんでした。

大変幸いな事に新型インフルエンザは強毒型ではなく、伝染力も攻撃力も想定していたものより、というよりはむしろ現在も流行するソ連型や香港型のインフルエンザよりも弱いからです。

正しく天が人類に与えてくれた予行演習のための

チャンスではないかとさえ、わたしは考えています。国際機関などの示す危機管理のためのアラートレベルは6段階です。その各段階ごとに行政のできること、できないこと、市民が自らを守るためにしなくてはならないことを明確に、わかりやすく分類する必要があります。さらに、行政は国・県・市の役割分担と、企業や市民の行動規範について、きちんと市民と認識を共有しておく必要があります。

例えば国内での発生が確認された時、JRや高速バス、あるいは航空機などの交通機関で、市外から大分市に入ろうとする旅客や大分市民に対する防疫的な対処と移動の制限をどうするのか。人道的ニーズやライフラインなど社会的ニーズの一部を除いて、市内すべての経済活動を停止することが可能かどうか。可能ならば、どの段階でデパートや大型スーパーなどに閉店してもらうのか。学校や幼稚園が休校になったとき、保育園はどうするのか。保育園を休園にするためには、その保護者の働いている企業など

の対応についてはどうするのか。市内の交通機関はどうするのか。一つひとつ詳細にかつ明確に市内の各企業や団体と意見交換し、認識の共有化を図っておく必要があることを議会で取り上げたのです。

「子どもルームサテライト」事業について

大分市は子育て環境日本一の評価を得ています。子どもルーム事業は市民の皆さんの高い評価を得ており、現在8ヶ所に設置され、さらにもう3ヶ所が計画されています。しかしながら、子どもルームは設置スペースや人員配置、運営費の財源などを考えれば、これ以上数を増やすことに限界があります。そこで子どもルームを子育て支援のための中核施設、センターとし、全ての小学校区にはその子どもルームのサテライト的機能を有する事業を展開することを提案しました。この事業は地域が主体となって推進するもの、認可保育園など子育て施設が自主的に行うものなど市民協働の事業とします。地域では既に豊府校区の「めだか学級」や判田校区の「パンダ村」など、地域における市民協働の子育て支援事業も始まりました。認可保育園も13園で自主的にを行っています。

「こどもルームサテライト事業」はわたしのマニフェストにも記載したものです。今後既に実施している事業についてはそのサポートをしつつ、これらと同様の事業を全小学校区で展開できるように、環境整備をする事に努力していきます。

民生委員・児童委員制度について

民生・児童委員は、自治会や町内会の組織、消防団とともに、大分市の地域共同体を支える三本柱というべき重要な要素です。とりわけ、共同体の構成員の高齢化などによって社会環境や共同体意識が激変する中、大分市を襲った今回の世界同時不況によって、民生・児童委員の活動内容はさらに複雑化、多様化し、業務量そのものも増加しています。

にもかかわらず民生・児童委員の担い手そのものが減少していることや、現職の委員さん方の高齢化も深刻です。どうすれば民生・児童委員の機能を現行のままに保証しつつ、委員さん方の負担を軽減できるかが、民生・児童委員制度の喫緊の課題となっ

ています。

そこでまず民生・児童委員さん方と個別あるいは少人数での意見交換会などを通して、緊密な信頼関係を醸成しつつ検討することを要望しました。

民生・児童委員さん方の心配事のひとつに、必要ときに専門家のサポートを受けられるかどうかということがあります。民生委員さん方の地域での活動の際、地域包括支援センターや保健所の特にケアマネージャーや保健師さんと、さらには同一地区の主任児童委員さんとの連携が深まるよう促す大分モデルを創出することを求めました。

高齢者世帯の火災警報器について

何度も設置のための奨励策や啓発運動を展開している消防局ではなく、福祉保健部も高齢者福祉の視点から、高齢者世帯への警報機設置状況を実態調査することと、高齢者世帯へ設置促進のための啓発事業をすることを提唱しました。

契約管理事務について

大分市の実施する公共工事の入札制度について、予定価格500万円以上と500万円以下工事で、最低制限価格決定のためのルールが違っているため、特に500万円以下の入札で、くじによる落札となる割合が非常に高いことを問題として取り上げ、改善を求めました。

大分市版セーフティーネットについて

昨年8月に米国で始まった世界恐慌は、とりわけ日本を、そしてこの大分市を激しく直撃しました。そこで地域経済浮揚策の一環として、緊急雇用対策とは別の視点からの雇用対策について論議しました。

セーフティーネットが本来の機能を有していないと、社会の空洞化を招き、労働者全体の給与などの待遇を悪化させ、技能的・技術的レベルを低下させ、スラムを生み、犯罪の発生率を高めてしまいます。

本来のセーフティーネットとは敗者復活を保障するものでなくてはなりません。不況などの一時的な経済的停滞によって失業率が高くなっても、生活を保障するだけでなく、技能や技術を体得させたり、

新しい知見や情報を取得させれば、地域全体の労働環境の保全と向上を図ることができます。それが結局のところ地域経済の振興と浮揚に結びつき、生活者の安心と不況からの脱出を促す事になるのです。

残念な事に2003年の構造改革以来、日本のセーフティーネットの基本的な考え方から、敗者復活の理念がなくなってしまいました。そこでこの大分市独自の大分版セーフティーネットモデルを構築することを提案したのです。

本市は昭和30年代の新産都指定以来、基幹・基盤産業から最先端産業、それらを有機的につなぐための中間産業が集積しています。さらには人口47万の地方都市でありながら、公立の工業高校が2校、大学の工学部が2校、国立の工業高専を有し、さらに多数の職業専門学校が存在するなど、人的資源の育成環境が整っています。

これらの産業集積、人的資源育成ポテンシャルを総結集すれば、大分独自のセーフティネットの構築も夢ではありません。今こそ、地方から声を上げることが必要であり、大分市こそその先頭に立つべきとわたしは考えています。

「大分青年協力隊」創設について

わたしは既に平成14年3月議会において、同じ提案をしています。未曾有の世界同時不況に見舞われた今日、わたしのこの提案こそ、最も効果的な施策だと考え、敢えて再び提案しました。

今回の経済不況の最も大きな悪影響は若年層の就職難です。不況とその結果による就職難から、若者たちが精神的にも経済的にも巣立ちをして、社会に飛び立とうとするその瞬間にブレーキをかけられることこそ問題なのです。

この大分青年協力隊とは、要するに海外青年協力隊の国内版、大分市版です。高卒から満30歳までの大分市内に在住する市民の子弟を募集し、最大で3年間程度、一定の生活補助と、満期終了時に奨学資金として、ある程度まとまった額を支払うものです。

大分青年協力隊員一人ひとりの能力、資質、希望に応じて社会福祉施設、教育機関、農林業、商店街、公園などに派遣し、各自の資質や体力を生かしながら、大分市の町づくりに参加することです。人材の育成と確保という意味で効果の高い施策の展開

を図ることも可能です。

200人程度の規模の協力隊を創設したとして、年額4億円の支出となりますが、財源は、恒常的な市職員の時間外労働を、職員の労働環境衛生の観点から最大限カットすることで捻出できるはずで

米粉を使った料理アイデアコンテストについて

米粉はパンやクッキーあるいはケーキ生地などに、小麦粉の代わりに使われることばかりで、それ以上の展開が進んでこなかったのが実情です。しかしながら、他県では既に、パスタやマカロニ、うどんなどの麺類としても消費拡大を図るなど、創造的なアイデアを利用した消費拡大に結び付けています。そこで大分市が主催して米粉を使ったアイデア料理コンテストを実施し、米粉の消費拡大を図るとともに、米粉についての周知を図ることを提案したのです。

仮称「公園設計アントレプレナー事業」について

大分市の造成する各種、各規模の公園の設計をコンサルタント会社や設計事務所に外注するのではなく、市の専門職員自身の設計アイデアをコンペ方式で募集し、公園予定地の周辺に居住する市民の方々に選考してもらう「公園設計アントレプレナー事業」を提案しました。

専門職として大分市に奉職した技術者にとって、自分の技術と人生の証として、大勢の市民が集い憩うための公園を設計できることは、職員の専門職としての意識の高揚につながり、同時に技術力向上も期待できます。

「彫刻を生かしたまちづくり事業」を駅南のシンボルロードで展開することについて

わたしはこれまで何度もシンボルロードの整備計画についてアイデアを提供して参りました。

わたしの提案は大分駅南口から上野の森公園、大分市美術館までの間を、彫刻やオブジェをつなぎ、市民の皆さんから寄贈を受けた、思い出の植樹を中心として整備した植栽や銘木を見、優れた彫刻作品を見ながら歩ける回廊を作ることです。

シンボルロードという名前である以上、大分市を

象徴する空間でなくてはなりません。

そのためにも大分の豊かな自然を象徴する緑とともに、芸術・文化を象徴する作品や歴史を象徴する銅像や記念碑を配置するべきと火つけています。

MRワクチンの接種時期について。

MRワクチンは現在、定期接種ワクチンに指定されています。接種時期として1回目を生後12ヶ月から23ヶ月の間、2回目を小学校入学前に接種することとされています。一方、風疹ワクチンを接種していなかった世代のための経過措置として、平成19年4月から5年間、中学一年生の1年間と高校3年生の1年間を2回目の接種時期と定めています。しかし、高校生は普通、2年生時に修学旅行に行きます。したがって高校生の接種時期を高校3年から高校2年に変更するよう国、県に要望するよう指摘しました。

コラム 国民≧国家か国民≦国家か 井手口良一

新聞でもテレビのニュースでも毎日、解散時期についてのコメントが出ています。解散という制度が衆議院にあり、首相に解散権があるとはいえ、本来、一度選挙に当選した議員が任期を全うすることを放棄することは、そう容易に許されることではないはずです。

わたしはむしろ野党こそ、首相の解散権を封じ込める戦術を取りつつ、マニフェストや地方集会などによって、自分たちのポリシーや政策について周知を図るべきと考えます。

とはいえどんなに先送りになっても今年の9月には解散があり、10月には投票日が来ます。政権交代があろうとなかろうと、政治の歴史的ともいえる大きな転換期となる選挙であることは間違いありません。

その歴史的瞬間にわたし達がどんな判断をするか。あと半年足らずの間にその選択を迫られる事になります。わたしは国民と国家のどちらに重きを置いているかで、投票する候補者と政党を選びたいと思

ます。

宗教的な迫害から逃れた人々が基礎を作り、独立戦争によって建国した米国などでは国民=国家と言うことが定着しています。しかし、自然発生的に国が国として誕生した日本などでは国民=国家とはなっていません。明治維新から太平洋戦争まで日本は、国民<国家の時期が長く続きました。結果がどうであったかは論を待ちませんし、戦後、国民>国家となったはずでしたが、事実はどうでしょう。

次の選挙ではその候補者のポリシーが国民≧国家か国民≦国家をよく見極めて、わたしは行動するつもりです。もちろん、わたしが選択するのは国民≧国家の方であることを宣言しておきたいと思います。

議員活動報告

(平成21年1月1日～3月31日)

(議会開会中の本来業務を除く)

1月

- 5日大分市公設卸売市場初セリ式
- 6日連合大分議員懇談会新春互礼会
- 10日豊府校区新年互例会(花園公民館)
- 11日消防出初式(平和市民公園)

2月

- 24日会派ミーティング
当選証書交付式
- 25日会派代表者会議(旧)
- 26日会派ミーティング
新名称「おおいた民主クラブ」
会派届け出
- 27日会派代表者会議(新)

3月

- 2日観光協会年次総会
大分市国体推進委員会総会
- 6日上野丘中学校卒業式
- 11日農業委員委嘱状交付式
- 12日政策研究会役員会
- 22日青森山田・竹田南通信制高校卒業式

ここはどこでしょう

はお休みです

あすなろ

「あすなろ」第34号 発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市府内町1-4-16 河電ビル3階303号室 電話番号 097-537-0556 FAX番号 097-533-9668

当選のお礼

2月15日に告示され、22日に投開票となりました井手口良一君にとって4回目の大分市議会議員選挙に際しまして、良友会の皆様のご厚情と熱のこもったご支援を頂戴いたしましたことを衷心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

同君は冒頭に掲げました4期目への決意表明に基づき、この未曾有の経済危機からこの大分市が一日も早く抜け出すことが出来ますよう、また不景気の影響を少しでも軽くすることを目指して、粉骨砕身頑張りをぬいていくことでしょう。

良友会としても今後とも井手口市議をサポートしつつ、お住まいの周りや市政についての問題や不満点を彼に提示していきたいと考えています。

これからも皆様のご鞭撻とご支援をいただけますようお願いいたします。ありがとうございました。

良友会会長代行・一七会会長
足立雅直

絶滅危惧言葉辞典(第3回)

(言葉のレッドデータブック)

流行語はいつの間にか消えてしまう言葉ですが、日本人が古くから生活の中で使ってきた言葉が最近、少しずつ死語化しているような気がしてなりません。

そこで死語化一步手前の言葉を絶滅危惧言葉にリストアップしています。皆様からも、そのリストに載せたい言葉がありましたら教えてください。

公器

公の機関は全て公器と呼ばれるはずですが特に新聞やテレビなどのメディアに対して使われることが多い気がします。NHKは公共放送と自称していますし、我々の納める利用料で運営されていますから公器と呼ばれてもいいのでしょう。

しかし、その他の新聞各紙やテレビ各局がはたして本当に公器なのでしょう。新聞であれ放送であれ週刊誌であれ、普通の会社と同じく営利を目的にし、ジャーナリストも自分の収入や社会的な地位を最優先に活動していることを我々は忘れてはなりません。そうでないある日突然「大本営発表」的な情報に右往左往させられる日が来るかもしれません。

志

志とは自分を超越して自分の属する共同体(民族であったり、国であったり、会社や地域であったりする)の他の構成員と共有するモチベーションのことだと、わたしは考えます。モチベーションですからモヤモヤとした掴みどころのないものであるはずで、そこが何々主義などやイデオロギーとは違うのです。志という言葉が我々の日常的な思考の中から消えつつあるのは、このイデオロギーなる外来語が移入し繁殖してしまったからではないでしょうか。



新人議員への期待

都町治郎

蓋を開けてみれば戦後最低の投票率となった大分市議会議員選挙だったが、ともかく11名の新人議員が誕生した。特に20代、30代の議員が合計3名も当選したこと、特に20代の議員が自転車とハンドマイクによる孤軍奮闘の選挙を戦い、当選圏に滑り込んだことに、なんとなく救われた思いを持ったのはわたし一人だろうか。

井手口議員は手堅い選挙で4期目をものにしたが、デビュー当時の話題性は消えうせて、正直過去の人になりつつある。よく言えばベテラン議員、裏を返せばマンネリ議員にもそれなりの存在価値はあるが、井手口議員は各級選挙のたびに候補者として下馬評にも上った人だけにはがゆい。

とはいえ政治家は本人の志とともに、支持者の意向を把握し、世論の掌握を図る事に意を尽くさなくてはならない。世は激動の時期、波乱の時期、非常の時期。非常の時期には非常の人の非常の判断が必

要と考えるが、井手口氏の胸のうちには何が潜んでいるのだろうか。

編集者より

都町次郎は特定の個人のペンネームではありません。複数のジャーナリストによるリレーコラムのための架空の人物です。いわば月刊誌「文芸春秋」のコラムニスト赤坂太郎氏の兄弟というふうにご理解下さい。市政の裏話や歯に衣着せぬ批評をお願いしています。ご期待下さい。

活動日誌

(平成21年1月1日～3月31日)

(市議会議員の活動を除く)

1月

- 2日ミニ集会 (王子山の手地区)
- 8日ミニ集会 (敷戸台団地)
- 9日舞鶴会例会
つかさ会
- 11日土道館寒稽古 (幸崎海水浴場)
- 14日朝礼挨拶 (2社)
ミニ集会 (公嘱協会役員会)
一七会
- 15日朝礼挨拶
ミニ集会 (コピ・ルアック)
感性教育学会大分県支部
友愛OB友の会
- 16日朝礼挨拶
イオン九州支部長会議
ミニ集会 (明野地区)
- 19日朝礼挨拶
会社訪問 (7社)
九州産交労組
ミニ集会 (高田地区)
- 20日朝礼挨拶 (2社)
ミニ集会 (謙誠会)
会社訪問 (4社)
終礼挨拶
- 21日朝礼挨拶
ミニ集会 (つるさき陽光台団地)
J店舗訪問 (7店)
- 22日朝礼挨拶
J店舗訪問 (7店)
ミニ集会 (22日会)
拡大幹事会

- ミニ集会 (旭化成労組)
- 23日朝礼挨拶
J店舗訪問 (5店)
つかさ会
- 24日心象同人伊藤氏出版パーティー (司会)
- 26日朝礼挨拶
組合員訪問 (旭化成労組)
- 27日朝礼挨拶
組合員訪問 (旭化成労組)
- 28日朝礼挨拶
組合員訪問 (旭化成労組)
- 29日朝礼挨拶
終礼挨拶 (2社)
ミニ集会 (N調剤薬局)
- 30日ミニ集会 (金池校区)
組合員訪問 (旭化成労組)
- 31日楽水会

2月

- 1日ミニ集会 (けやき台地区)
フジボウ労組OB会
- 2日朝礼挨拶 (2社)
- 3日朝礼挨拶 (3社)
トキハ労組挨拶
ミニ集会 (土道館南大分道場)
- 4日朝礼挨拶 (3社)
昼集会 (JEC労組)
ミニ集会 (スポチャン城南小)
サウダージの会
ミニ集会 (土道館麻生道場)
- 5日朝礼集会
昼集会 (旭化成労組)
組合員訪問 (フジボウ)
- 6日朝礼挨拶 (2社)
JICA派遣専門家OB会
ミニ集会 (土道館佐藤道場)
- 7日朝礼挨拶
UIゼンセン青年女性委員会
おおとり会
一七会分会 (2ヶ所)
- 8日N店舗訪問 (4ヶ所)
ミニ集会 (金池校区)
ミニ集会 (萩原地区)
- 9日朝礼挨拶 (2ヶ所)

